

ご利用方法のご案内

生涯学習センターでは、市民の皆さまが集い、学び、交流を深める場として、集会室の貸し出しを行っています。学習活動や趣味の集まり、練習、発表会、自治会・PTAの会議など、さまざまな目的でご利用いただけます。会議室、音楽室、和室など、活動内容に応じた集会室をご用意していますので、用途に合わせてお選びください。

初めて利用する方

- 事前に利用者登録が必要です。生涯学習センター窓口にてお手続きください。
※登録には1～2週間程度かかる場合がありますので、余裕をもってお手続きください。
- 利用者登録完了後は、窓口および静岡市施設予約システムにて、施設の予約や抽選申込み等が可能となります。
※詳しくは、生涯学習センター窓口までお問い合わせください。

ご利用いただけない場合

- 次のいずれかに該当すると判断される場合には、施設のご利用をお断りすることがあります。
- ・ 公の秩序または善良な風俗を損なうおそれがある場合
 - ・ 特定の宗教の教をを広めることや、儀式・行事の実施、信者の育成を主な目的としていると認められる場合
 - ・ 政治的な主張を広めることや、これを支持または反対することを主な目的としていると認められる場合
 - ・ 営利活動を主な目的としていると認められる場合
 - ・ 施設の管理または運営に支障が生じるおそれがある場合
 - ・ その他、当施設の利用として適切でないと認められる場合

北部生涯学習センター美和分館集会室

第1集会室



第2集会室



第3集会室



第4集会室



第5集会室



和室1



和室2



料理実習室



静岡市生涯学習センターホームページ



葵区・駿河区の生涯学習センターのことや、最新の講座情報を確認できます。

静岡市施設予約システムトップページ



施設予約ページへ直接アクセスできます。空き状況の確認やお申し込みをスムーズに行っていただけます。

静岡市北部生涯学習センター 美和分館

(アカデ美和)

指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

〒421-2113
静岡市葵区安倍口団地5番1号
電話/ (054) 296-7122
FAX/ (054) 296-7124
休館日/月曜・祝日・年末年始
開館時間/9:00～21:30

アカデ美和と地域をつなぐ情報誌

美んなの和



「講座の学びとサークルの活動をのぞいてみよう」

講座日記で参加者の学びの様子や気づきをお届けします。
サークル紹介では活動の楽しさや雰囲気写真やエピソードで紹介します。



<静岡市葵区遠藤新田の安倍川河川敷沿い河津桜並木>

令和7年度 講座日記

北部生涯学習センター美和分館では、
「大人のための 絵本読み語りの会」を開催しました。



読み語りを担当したのは、当センターの主催講座「大人から大人へ 絵本の読み手養成講座」で学んだ12人の読み手です。10月から全6回にわたる講座を通して、読み語りの技術・発声や間の取り方、作品の理解の深め方などを丁寧に学び、それぞれが自分らしい表現を模索しながら準備を重ね、この日を迎えました。

こどもの頃を思い出すような心温まるお話や、思わず笑顔がこぼれるユーモアあふれるお話、社会の在り方について考えさせられる寓話（ぐうわ）など、それぞれの個性を生かした読み語りが会場を包み、穏やかで満ち足りた時間が流れていました。

聞き手の皆さんは静かに聞き入り、読み終わるたびに温かな拍手が送られました。「なつかしく、聞いていて心が癒やされました。」「大人のための絵本の時間が胸に響きました。」といった声も寄せられ、読み手の皆さんも、こども向けとはひと味違う聞き手の反応に大きな手応えを感じたようです。

皆さんも『絵本はこどもだけのもの』と思わず、時には図書館や書店の絵本コーナーをのぞいてみてはいかがでしょうか。新しい出会いがあるかもしれません。忙しい日常の中だからこそ、短い物語に耳を傾ける時間が心を整えてくれることもあります。

当センターでは、これからも絵本の読み手を育てる取り組みを続けてまいります。

興味のある方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

サークル紹介

絵本の楽しさを伝える活動をしているサークル「ねこバス」です。



<ねこバスの皆様>

静岡市北部生涯学習センター美和分館（アカデ美和）を拠点に活動する読み聞かせサークル「ねこバス」は、1999年に活動を始めました。

「当時は近くに図書館や書店がなくて…。こどもたちに本の楽しさを伝えたい。という思いからスタートしました」と、代表の望月さんは振り返ります。

現在の会員数は14人。年間18回ほど勉強会を開き、読み聞かせの技術を学び合いながら、和やかな雰囲気の中で活動を続けています。

毎年11月には、当センターが開催するアカデ美和まつりに参加するほか、市内の小学校や市立図書館、トモエ文庫でのおはなし会など、地域のさまざまな場で活躍しています。今年は、静岡市美術館で開催された「かがくいひろしの世界展」の関連イベントでの朗読にも協力しました。

活動で大切にしていることを伺うと、「大人の押し付けではなく、こども目線で伝えることです。絵本が持つ力を、こどもたち自身に感じてもらえたらうれしいですね」と、あたたかな言葉が返ってきました。

読み聞かせる本は、季節感を大切にしながら選び、「こどもたちの心に残る時間になれば」との思いを込め、準備にも心を配っています。

今後については、「一人ひとりがもっとスキルを磨き、より多くの絵本を届けていけたらうれしいです。また、会の運営をさらに充実させ、地域の方々とのつながりも大切にしながらみんなで活動を広げていきたいですね。」と、笑顔で話してくれました。

